【３つの共同目標】
① 日本の経済を国民本位に転換し、暮らしが豊かになる日本をめざします② 日本国憲法を生かし、自由と人権、民主主義が発展する日本をめざします③ 日米安保条約をなくし、非核・非同盟・中立の平和な日本をめざします

革新・愛知の会

第２８１号　２０１８年１０月１０日
平和・民主・革新の日本をめざす愛知の会

〒456-0006
名古屋市熱田区沢下町9-7労働会館東館306
TEL(052)872-6918　FAX(052)872-6919
Eメールkakushin-aichi@roren.net
http://www.kakushin-aichi.jp/

インタビュー

誰のための改憲か　本質を見抜く！主権者の力で

弁護士の加藤洪太郎さんにインタビューをお願いし、名古屋第一法律事務所をたずねました。「創業50年・得意と世代を結ぶ自立型弁護士31名のクラスター」の名刺をいただき、お話を伺いました。事務所のこと、九条の会の活動のこと、国民主権のこと、主権者の力など語っていただきました。

（聞き手　撮影・岩中美保子）

加藤　洪太郎（かとう　こうたろう）さん

１９４４年瀬戸市生まれ。
１９６７年中央大学卒業、名古屋第一法律事務所所属。あいち九条の会事務局長。

「水はよく舟を載せ、また舟を覆す」

国民主権とは何か

私は、代々続いた陶器問屋の跡取り、一人息子でした。オヤジが亡くなり、祖父は私に継いで欲しいと思っていましたが、高校生の時キューバ危機があり、そこで自分は何をすべきか考え、平和構築に役立つ職業をと中央大学法科に入学、24歳で弁護士となりました。

大江健三郎さんらが呼びかけた9条の会は、司令塔がなく会員同士、地域・職域など横でつながり合う活動です。

それぞれが自覚して自分が人生の主人公であり、力をあわせて境遇を変えていく。いまこそ、国民主権とは何か、もう一度問い直すことが大事ではないでしょうか。

国民主権はピラミッド型ではなく、対等平等です。国民主権の力を本当に発揮するには、それぞれが自主性を基礎に協力し合うということを、国民性として身につけていくことだと思います。

その点で、9条の会の活動の仕方は国民主権の力を発揮し、一人ひとりが協力しあっていくという一番の基本のあり方だと思うのです。

海外参戦体制をつくる

そこで、私も自ら調べて考えてみました。“なぜ改憲なのか？”を。それは、海外で戦争をする海外参戦体制を作るためだと判断しました。艦船の航空母艦化、F35B戦闘爆撃機など装備の方向を見れば明らか。自衛隊の海外基地がジブチにあります。中近東からアフリカでも軍事力の行使や武力による威嚇ができる態勢が作られてきています。法制面でも改定安保法制のもと、かつて「満蒙は日本の生命線」と言ったように「中東は日本の生命線」として自衛隊を出動させることができる。

総理は、自衛隊を南スーダンに派遣しましたが、憲法上の制約があり撤退せざるを得なかった。しかし、憲法を変えれば引き揚げなくてもよく必要な戦闘行動もできる。憲法が邪魔になっている。

イギリスは自国防衛と海外参戦のためにGDPの約2％を軍事予算に使っています。自由民主党は、中期防衛力整備計画のなかで防衛費はGDP2％を参考にすべしといっています。それは6兆円、いまの倍です。（二面へ）

平民の暮らし

翁長さんの急逝には、夫の死以来の悲しみを得た83歳、倒れた夫と二人で一人前と公言する人、リスタート集会で寄せられたカンパ（一人で10万円の人も）を持参した東部革新懇などが沖縄へ▼デニー候補はいじめられた体験を、翁長樹子さんは「県民の判断が下されるまで待とうと思っていた。しかし政府が権力を行使して沖縄を愚弄してくるのであえてマイクを握った」、と語った（ひやみかちうまんちゅの会9／22）▼総裁選でアベ首相は明文改憲を争点にした。結果、党員の45％からNO！を、そしてオキナワでも否を！ウソ・権力による政治手法が裏目に▼臨時国会ではアベ政治の追及を！災害列島への対応、人権・暮らしの充実、モリカケの責任を問う。そして改憲論議を許さず、参院選での統一へ。（村上俊雄　革新・愛知の会代表世話人／事務室長）

わが街の革新懇

隔月掲載です。

民主革新・中の会　町田　明隆

私たち中の会は、革新懇は「活動のデパート」と位置づけ民主的な活動をされている中区の個人、団体を結びつける方法を事務局会議のなかで色々と模索・検討しています。

それぞれに活動目標を持って活動している各団体・個人の方たちとの情報交換・交流を持つなかで、取り組まれている行動や学習会などを把握し、その情報を提供・共有する事で、中区全体の活動が一歩でも二歩でも前進出来るのではないかと考えています。

名古屋の中心地中区での活動は、加入してもらっている民商さん、新婦人さん、市労働組合さんたちと共に、学習会や総会を定期的に行っています。

世話人には、金山総合法律事務所の渥美雅康弁護士、名古屋共同法律事務所の中谷雄二弁護士の先生方に担ってもらっています。学習会にも講師としてお招きし、大変お世話になっております。

デ　地しめ
「活動のざを
パート」　根動
さらに活して
一　に活さ
域　し　た

先の総会・学習会では若者の生の発言も取り入れた「働き方改革の本質・ねらいとは」の報告が全国革新懇ニュースにも取り上げられました。

もちろん３０００万人署名にも毎月行動しています。しかしながら、構成メンバーは（事務局）中区在住の方たちは少数で、ほとんどの人が中区以外の方たちです。中区に役所、職場があったりする関係で中の会に関わってもらっています。地元で［地の要求活動］と言う面では弱い部分もあります。

今後の課題として中区在住の構成メンバー（事務局）を増やし、地域情勢に対応出来る活動をしていく必要があると思います。現在、重点的に取り組んでいる革新・愛知の会主催の「文化と講演の夕べ」には加入団体全体で、参加目標を出し合い10月30日の前川喜平さんの話に集います。前川喜平さんのお話の評判は好評で、ぜひ聞きたいという方々も多いそうです。何より、会場の日本特殊陶業市民会館ビレッジホールは中区にあります。

台風24号が日本列島を駆け抜けるなか、沖縄の県知事選挙では、新基地反対の圧倒的民意が生かされ、保守・革新の垣根を越えたオール沖縄のたたかいが勝利しました。これを受け私たちも全国との連帯を強めることの必要に、より意義を感じます。

講演と文化の夕べ　前川喜平さん来る！

申し込みは　革新・愛知の会へ

ウソ・ごまかし「安倍政治」に終止符をアピール署名運動びかけ

前文部科学事務次官の前川喜平さん、元最高裁判事の濱田邦夫弁護士、元文部官僚の寺脇研京都造形芸術大教授ら著名16氏が呼びかけ人となり、「いまこそウソとごまかしの『安倍政治』に終止符を！」アピール署名運動を呼びかける記者会見が10日、国会内で開かれました。

前川喜平さんも呼びかけ人に！

ネットで賛同署名が拡がっています。9月10日に呼びかけられ、すでに７６００を超えています。

9/10記者会見するアピール呼びかけ人　衆院第１議員会館

とき：10月30日（火）18:30
所：日本特殊陶業市民会館　ビレッジホール

いまこそウソとごまかしの「安倍政治」に終止符を！

1　公文書は私たち国民が共有する知的資源
2　公文書の隠蔽・改竄、廃棄・捏造は国民主権・民主主義を破壊する
3　「大本営発表」の歴史を繰り返すことを拒否
4　ウソとごまかしの「安倍政治」に終止符を

私たちは、国民主権や民主主義といった私たちの社会の土台が蝕まれ、破壊されようとしている危機を黙って見過ごすわけにはいきません。この時代を生きる私たちは、主権者として民主主義を求める声をひろく集め、真実を明らかにし、ウソとごまかしの「安倍政治」に今こそ終止符を、と訴えます。（要旨）

２０１８年9月10日

★検索「いまこそウソとごまかしの『安倍政治』に終止符を」ネットで検索して賛同してください。

★沖縄県知事選挙募金ありがとうございました。多くの方から30万９千円の募金が寄せられ、沖縄革新懇を通して知事選挙募金を手渡しました。